

## 日本鐵鋼協會記事

**理事會** 昭和6年5月13日(水)午後5時開會

**出席者** 俵 國一君 河村 驍君 渡邊三郎君  
香村小録君 鹽田泰介君 室井嘉治馬君 三島德七君

**協議事項** 1. 日本鐵鋼協會第七回講演大會第六回研究部會開催に關する件 (準備細目決定其他準備に關し毎月續行するものとす) 2. 日本工學會評議會の決議事項にして本會に關する件 (明年開催の工學會大會の期日。同大會準備委員用語制定委員 推薦。其他) 3. 事務員増員 前田テル採用 4. 會誌發行期日勵行に關する件

鐵と鋼印刷所三秀舎より山岸、倉澤の兩氏の出席を得て協議の結果次の通り決定す

原稿締切期日

論文、抄録原稿は會誌發行前月	18日	締切
商 況	"	"
雜錄。會記事。廣告。會誌發行當月	8日	"

5. 入退會者承認。

**報告** 1) 3-4月中收支決算及資産増減調書。2) 現在會員數。3) 名譽會員サー・ハットフィールド氏の推薦狀を本邦外務省 通商局を經發送す。4) 本會第5回研究部會鑄物部會に於て決議の「鑄物試驗方法規格案」を商工省へ參考として提出。5) 海防義會より照會の件。6) 本會定款改正を文部省へ出願中の處去る4月25日付を以認可指令に接したり。

以上の通りにして午後8時散會せり。

**編輯委員會** 昭和6年5月6日午後5時開會

**出席者** 俵會長 池田正二君 石原善雄君 室井

嘉治馬君 海老原敬吉君 足立泰雄君 三島德七君 鹽澤正一君 廣瀬政次君 **協議事項** 1. 第七回講演大會準備に關する件 2. 鐵と鋼第17年第6號上掲原稿選定の件

### 選定論文

1) 砂鐵及酸化鑛石の接觸還元

岩 瀬 慶 三

2) 砂鐵の電氣熔融製鍊に關する研究概要

向 山 幹 夫

3) アルミニウム含有鑄鐵鑄造作業の困難に對し化學的見地よりの熱力學的考察

深 川 庫 造

4) 鍛延鋼の性質に就て

石 原 善 雄

永 澤 清

5) 窒化鐵に含まるゝ原子狀水素に就て

佐 藤 俊 一

以上等にして午後9時散會す。

**退會者承認濟 正會員** 青山與市 篠原潤一郎 東京製綱會社川崎工場 宮居鐵治 **准會員** 阿部永介 佐藤孫三

### 會誌頁付誤り

鐵と鋼 第17年第3號 最終 234 頁は誤植なれば 324 頁と改む

鐵と鋼 第17年第4號 は 235 頁より始まれるを 325 頁と改め以下順送りとす。



第四十三條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ出願正會員ハ及分三以上ノ正會員ニ於テ  
要ス

第四十四條 事務所ノ位置ハ東京市内ニ於テス  
ルニシテ之ノ便宜ニ依リテ決定スルコトヲ得

第四十五條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第四十六條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第四十七條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第四十八條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第四十九條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第五十條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第五十一條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第五十二條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第五十三條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第五十四條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第五十五條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第五十六條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第五十七條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第五十八條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第五十九條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

第六十條 日本鐵鋼協會定款施行細則  
ハ本會ニ於テハ之ノ施行ニ關シテハ本會  
ニ依リテ決定スルコトヲ得

日本鐵鋼協會定款  
施行細則

第一條 正會員ハラソトシテハ正會員ニ名  
以上ノ正會員ヲ以テ甲種正會員ニ號シ本會ニ申  
出願スルコトヲ得

第二條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ乙種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第三條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ丙種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第四條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ丁種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第五條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ戊種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第六條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ己種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第七條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ庚種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第八條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ辛種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第九條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ壬種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第十條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ癸種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第十一條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ甲種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第十二條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ乙種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第十三條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ丙種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第十四條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ丁種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第十五條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ戊種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第十六條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ己種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第十七條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ庚種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

第十八條 正會員ハ正會員ニ名以上ノ  
正會員ヲ以テ辛種正會員ニ號シ本會ニ申出願  
スルコトヲ得

入會者承認濟

居所又は宛名先	稱號及勤務先、職業	會員別	入會者氏名	紹介者
大阪市住吉區西長居町七五二 (住吉三〇一三)	工學士 大阪工大助教授	正	多賀谷正義君	藤室井嘉治 寬馬
横濱市鶴見區鶴見町三三六	工學士 日本鋼管株式會社技師	正	森山達郎君	松下長久 松橋太郎
牛込區赤城下町三五	工學士 日大工學部教授	正	淺川勇吉君	杉村伊兵衛 村松橋太郎
本郷區臺町三九小春幸堅方	東大冶金學生	准	藤本一郎君	倭國一
大阪市北區東野田町九丁目 大阪工業大學	冶金學生	〃	藤原弘君	藤井寬
〃	〃	〃	落合勇君	〃
大阪市此花區櫻島町大阪鐵工所	鑄造工場	〃	野田親三君	村松橋太郎
大阪市此花區島屋町住友製鋼所		〃	安西泰君	高木弘
市外世田ヶ谷町經堂在家六〇〇	東大冶金學生	〃	關口次郎君	倭國一

日本鐵鋼協會第十六回通常總會

第六回講演大會記事の續き

第2日 4月4日(土) 工場見學

夜前危ぶまれたる天氣も全く回復し、本日は朗かなる絶好の日和なりき。定刻午前9時には倭會長初め、會員約120名、蒲田新宿なる東京計器製作所に參集せり。同所の休憩室にて暫時休憩後約20名宛一團となり、工場及研究所を參觀せり。研究所に於て各種航空用計器の説明を受け最も興味を感じたり。同所は昨年、理想的なる現工場に移り、優秀なる技術者と研究と相俟つて、スペリー式ジャイロコムバスを初め諸種の計器の製作に目覺しき躍進をなし、今や外國輸入品を驅逐する域に達したるは、眞に欣快に堪へず。同所の深厚なる御配慮と茶菓の饗應に對し、感謝の意を表す。午前10時同所を出て田村にて京濱電車に乗り、總持寺にて臨港電車に乗換へ入船にて下車淺野製鐵所に到れり。同所構内に設けられたる天幕内にて休憩繪葉書等の配與をうく。午前11時より、同所技師長大村正篤氏の先導、各係員の案内にて原料置場、熔鑄爐、平爐工場及鋼板壓延工場を見學せり。目下斯業界不況の時、月額7,000 吨以上の大量生産をなすべく、全力を傾注して操業中と聞く、之偏に多年苦心經營の賜といふべく、眞に慶賀に堪へず。猶將來益々發展せられん事を祈る。同所及び大村氏の盡されたる御配慮に對し深厚の感謝の意を表す。

之より直に鶴見俱樂部に入り、晝食を喫す。此の間淺野製鐵所專務横山氏及技師長大村氏の歓迎の辭ありたるに對し、倭會長謝辭を述べられたり。歡談約30分午前

中の疲勞を全く忘れ、足取軽く芝浦製作所鶴見工場に向へり。時に午後0時40分。同所の厚意により、専用電車に便乗午後1時同所前に到着す。納富專務初め諸氏の歓迎をうけ、同所に入る、雄大且完備せる工場に感嘆し歐米諸國一流工場に比して毫も遜色なかるべきを痛感せり。東京工場を移轉すべく、目下新工場の増築に急ぎつゝあり。之が竣工の暁には更に偉觀を添へるならん。本日自動熔接機原子水素弧熔接機の使用實況及びタンガロイによる硝子切削實驗見學し得たるは、一同の最も悦とする所なり。茶菓の饗應を受け、同所の御厚意を感謝しつゝ暫時休憩後往路の如く、電車に便乗して、東京瓦斯會社鶴見工場に向へり。午後2時30分同工場に到着し、樓上にて鄭重なる茶菓の饗應をうけたる後數團に分れ瓦斯發生爐、骸炭爐、瓦斯清淨工場、副産物工場等を見學せり。骸炭爐の Dry Auenching の應用と之より出づる Waste heat を boiler に利用して多大の利益を擧げつゝあるとは最も注意を惹きたり。絶好の天氣に恵れ且つ各工場の御高配を得たるによりて、順調に然も盛會裡に午後3時40分見學を終へ三々伍々歸路につけり。